

# 全労連第 30 回定期大会によせられた 海外友好組合・団体からのメッセージ

(14 カ国、17 組合/組織、3 国際/地域組織)

2020 年 7 月 30 日現在  
全労連国際局仮訳

## オーストラリア労働組合評議会 (ACTU)

全労連第 30 回定期大会に際して、オーストラリア労働組合評議会 (ACTU) はオーストラリアの労働運動を代表し、全労連、全労連の加盟組合、全労連の組合員みなさんに温かい連帯のご挨拶を申し上げます。

全労連大会は極めて重要な時期に開催されています。日本とオーストラリア双方で、また世界中で、労働者は未曾有の困難に直面しています。

COVID-19 がもたらした医療、経済、社会の危機によって、数十年にわたる新自由主義を原因とする不平等が露呈されました。そしてその不平等は悪化し続けています。この危機から回復するにあたって、私たちに不可欠なことは、全労連と私たち ACTU がたたかい続け、すべての労働者のために公平、公正、平和なコロナ後の世界を確実に構築することです。

オーストラリアの労働組合運動を代表して、みなさんの大会の成功を祈念し、連帯を表明します。みなさん大会の成果を何うことを強く願っています。私たちは、全労連と ACTU の強固な関係、また労働者にとってより良い世界を構築するための私たちの共同のたたかいがさらに続くことを楽しみにしています。

連帯

オーストラリア労働組合評議会 (ACTU)  
議長 ミシェル・オニール

## オーストラリア建設・林野・海運・鉱山・エネルギー労組・建設一般部門 (CFMEU)

オーストラリア建設・林野・鉱山・エネルギー労組 (CFMEU) を代表し、全労連第 30 回定期大会にご挨拶を申し上げます。

全労連と私たち CFMEU が共有する戦闘的な歴史と文化は、労働者の権利のため、平和のため、そして搾取、貧困、人種差別を根絶するためのたたかいのなかの労働者の国際連帯に示されています。

いま世界のすべての国が COVID-19 のパンデミックに苦しんでいます。

このウイルスが極めて甚大な影響を健康に及ぼしていることは明確ですが、経済にも甚大な打撃を与えています。

世界経済は世界大恐慌以降、最も深刻な景気後退に直面しています。

強力な労働組合と進歩的な政治的リーダーシップはいま、かつてなく重要です。

労働者として、私たちはパンデミック前の常態へ回帰することを希望してたたかうよりも、1%の人々のためではなく、労働者階級のために世界経済が機能する未来を希望して奮闘します。

この目標を達成するには、たたかいと強い国際連帯が求められます。

全労連と私たち CFMEU がともに、この目標とさらに大きな目標を実現するたたかいの先頭に立つことを確信しつつ、親愛な全労連の同志みなさんに連帯を表明します。

連帯

オーストラリア建設林鉱山エネルギー労組  
CFMEU 建設一般部門  
全国書記 デイブ・ヌーナン

## 中華全国総工会 (ACFTU)

全労連が 2020 年 7 月 29 日～30 日にオンライン方式で第 30 回定期大会を開催することを嬉しく伺いました。中華全国総工会は、大会の開催に祝賀の意を送ります。

全労連が結成されて以降、日本の政治、掲載と社会生活の中で重要な役割を果たしてきました。昨年全労連結成 30 年を迎え、組織拡大、強化と能力向上に関する四か年計画を実践されています。労働者と労働組合を取り巻く環境と挑戦を深く分析した上で、幅広く有力な活動を積極的に行うことを通じ、全労連は労働者の権利とディーセントワークの擁護、特にコロナウイルス流行後、公正公平な労働運動秩序の擁護に新たな貢献をされる

と確信しています。

中華全国总工会と全労連は 2000 年に友好交流関係を結成しました。それ以来、両組織は緊密にコンタクトを取り合い、お互いにサポートし、共に中日両国の経済と社会の発展、労働者権利の擁護にたゆまぬ努力をしてきました。中日両国の労働組合は数多く共同の目標と展望があります。今後、労働分野における全労連との交流を引き続き強化し、労働者と労働組合権利を守るために共に奮闘しましょう。

最後に、定期大会が円満な成功を収めることと、貴組織の発展、両組織の末長い友好と協力を祈念します。

中華全国总工会

### **ベトナム労働総連合(VGCL)**

1050 万人のベトナムの労働組合員を代表して、全労連第 30 回定期大会の全ての代議員と仲間みなさんに心からの連帯のあいさつを送ります。

労働者を不利な状況に追い込む政策と立法に、疲れを知らずに運動を進める全労連と気持ちを共有しています。この間の組織の強化拡大の取り組みと、特に COVID-19 のパンデミックの下で労働者の権利と利益を守るみなさんの成果は素晴らしいものです。VGCL は日本の発展と労働者のよりよい生活のためにたたかう全労連に、強く連帯します。

この機会に、両組織の間の伝統的な友好関係を強化し、労働者と労働組合の権利を守り、平和で公正な世界を目指す私たちの共通の目標にむかって努力する決意を申し述べます。そして全労連の過去 30 年の長きにわたるたたかいをささえた同志と仲間みなさんへも、心からの感謝と連帯の気持ちを送ります。

全労連第 30 回定期大会が大きな成功をおさめ、選出される新しい指導部の下、未来に向かって前進することを祈念します。

連帯を込めて

VGCL 議長 グエン・ディン・クアン

### **インドネシア福祉労働組合総連合 (KSBSI)**

全労連執行部のみなさん、  
全労連大会代議員のみなさん、  
全労連大会参加者のみなさん、  
なによりも初めに、全労連第 30 回定期大会に際

して、全労連定期大会代議員のみなさんが私たちに連帯のご挨拶の機会をくださったことにお礼申し上げます。

かつて私たちは、全労連を人権と労働者の権利を求めてたたかう日本の労働組合のひとつと認識していました。労働組合の指導部として、以前から私たちは互いのことを知っていましたが、2005 年 12 月、アチェを破壊した津波による災害の際、KSBSI のほとんどすべての活動家が全労連のことを知るようになりました。全労連は、私たち KSBSI 役員とアチェの組合員たちの極めて困難な被災を支援するため、アチェを訪問してくださいました。私たちは全労連によるアチェの支援を決して忘れることはありません。私たちはみなさんの連帯に心から感謝しています。

第二は、私たちは社会経済の自由主義的アジェンダ、経済のグローバル化に関連するさまざまな多くの障害と問題に直面しています。経済のグローバル化は他方で、労働者の権利を損ない、人間のテクノロジーへの置き換えさえ生じさせるインフォメーションテクノロジーをもたらしました。最近ではさらに、サイバーフィジカルシステム、人工知能、デジタルテクノロジーといった技術開発により、総体的に人的労働力に置き換えが可能なスマートロボットやスマート生産機械の製造も可能になっています。

いっぽうで世界中の労働組合、また政府さえも、ディーセントワークが制限され、世界的な経済不況が広範な失業と貧困をもたらし、社会的混乱と戦争の勃発につながることを危惧しています。ですから国連は加盟各国の採択により、経済成長とディーセントワークの創出をとおして持続可能な開発を確実にする「目標 8」を盛り込んだ持続可能な開発目標 SDGs を策定しました。

第三に、私たちは労働組合の執行部であること、労働組合の組合員であることを誇りに思うべきです。なぜなら現在、そして将来にわたって、ディーセントワークを保障するのは私たちだからです。近代経済学の父、アダム・スミス (1723-1790) は「国家の富は労働によってもたらされる」と主張しました。おそらく彼の主張は現在でも有効でしょう。忘れることのできない短文を引用します。

「ロボットは自動車を作ることができるが、決して自動車を買うことはない」

テクノロジーが私たち人間の生活の多くの側面を何度となくサポートしていることは事実です。

しかし経済的な視点は常に、労働者としての人間の役割に留意しています。潜在的に労働者は、結果としての製品を消費する購買者です。人間のためのディーセントワークが利用できない場合、各国政府が危惧するように、世界は間違いなく破滅に向かうでしょう。こうした事実からも、労働組合運動はこれまで、世界の公正で平和な人間生活を維持するうえで、正しい道を歩んできたと言えます。

テクノロジーの正しい利用とは、高い難度が要求され、かつリスクの高い労働や重労働に対応した特化した利用です。人間の労働にディーセントな賃金が要求されることを理由に、テクノロジーを人間の労働に置き換えるべきではありません。

第四に、私たちはテクノロジーの進歩を止めることはできません。しかし私たちは、すべての人にディーセントワークを提供する方向で経済が成長し続けることを労働組合の政策と方針をとおして、確保することができます。もちろん確保を可能にするのは、政府と使用者との建設的な社会的対話が実施された場合です。

最後になりますが、ディーセントな労働と賃金をともなった経済成長を確実にするため、労働組合の土壌を発展させ、労働組合運動のなかでともに奮闘しましょう。さまざま行動、社会的対話、平和を求める運動をとおして、労働組合員であることに誇りを持ちましょう。

あらためて全労連第 30 回定期大会の開催にお祝いを申し上げます。みなさんの大会が挑戦の時代にふさわしい方針と行動計画を策定し、組織拡大と強固な全労連の建設を可能にする新執行部を選出されることを祈念いたします。

全労連、万歳！

労働組合、万歳！

連帯よ、永遠に！

KSBSI 議長、

エリ・ロシータ・シラバン

## **インド新労働組合イニシアチブ(NTUI)**

オンラインで開催される全労連第 30 回定期大会(2020 年 7 月 29~30 日)の代議員のみなさん、

新しい労働組合イニシアチブ NTUI は、全労連第 30 回定期大会に際し、大会の成功を祈念するとともに、日本のたたかう労働組合運動の先頭に立ち 30 年にわたって奮闘してこられた全労連の執行部と組合員のみなさんに心から連帯のご挨拶を

申し上げます。

みなさんのオンラインによる大会は、危機によって世界が活動停止を余儀なくし、労働者も世界を閉ざした極めて異常な状況のなか、私たちがこの未曾有の危機への対応を迫られているまさにそのときに開催されます。あらゆる危機と同様に、この危機もまた、資本による攻撃の狙いの中心は労働者階級です。

私たちは今後、資本からの攻撃を認め、対峙することによって、労働者階級にとっての未来の労働と賃金を定義し、政治経済に対する自由の社会的な関係と条件を再定義することになるでしょう。私たちは、資本の活動が「常態」に戻ることを決して許してはなりません。私たちは不安定労働者のリビングウエイジ、医療へのアクセス、安全安心の職場、退職後のディーセントな暮らしを否定し、不安定労働者を軽視し続ける状況に甘んじることはできません。私たちは、汚染された都市だらけの世界に戻ってはなりません。汚染は公的輸送手段がますます失われ、民間輸送手段がますます増加することによって、もたらされました。私たちは、賃金の搾取によって企業利益が維持される流れを阻止しなければなりません。

すべての人々の公正、平等、民主主義が保障され、必要不可欠なすべての仕事に敬意が払われ、生活できる賃金が支払われ、ディーセントな暮らしが保証されるもうひとつの世界を構築するため、私たちは奮闘、努力しています。私たちは奮闘、努力しつつ、新たなたたかいと連帯を構築し、前進するでしょう。こうしたたたかいと連帯によって、私たちは国境を越えた関係を築くと同時に、私たちの進む方向は決定づけられます。

全労連と NTUI の連帯のなかでも、今回の全労連大会は、コロナウイルス禍のなかで一番初めに開催される重要な会議です。労働者階級の運動が直面している前例のない新たな挑戦を追求するにあたって、全労連第 30 回定期大会は、全労連の組合員や日本の労働者階級のみならず、世界中の労働組合で活動している私たちすべてを導くものになるでしょう。

私たちは全労連第 30 回定期大会の成果をご報告していただくことを楽しみにしています。また全労連と NTUI との関係がさらに強くなることを期待し、私たちは全労連第 30 回定期大会とみなさんの今後のたたかいに連帯のご挨拶をお送りします。

全労連のみなさんのたたかいは私たち NTUI の  
たたかいです！

全労連のみなさんの挑戦は私たち NTUI の挑戦で  
す！

国際連帯、万歳！

兄弟姉妹から温かいご挨拶を！

同志の連帯

NTUI 書記長ゴタム・モディ

### **ネパール労働組合総連合(GEFONT)**

全労連の大会代議員と同志のみなさん、

ネパール労働組合総連合 GEFONT とネパールの  
労働者階級すべてを代表し、全労連第 30 回定期  
大会に心から連帯のご挨拶を申し上げます。

私たちは、労働者の正当な権利と利益を守るた  
めのさまざまなとりくみのなかで奮闘される全労  
連の執行部と組合員のみなさんに心からお祝いを  
申し上げます。

私たちは、みなさんの大会が最も効果的かつ現  
実的な視点から、国内および国際的な状況を詳細  
に分析、協議することを期待しています。私たち  
は、2年に一度開催される全労連大会において、  
労働者の生活に深刻な悪影響を及ぼしている  
COVID-19 の世界的大流行のなかの仕事の世界に  
ついて、みなさんが改めて協議することを確信し  
ています。

仕事の世界はパンデミックの甚大な影響を受け、  
またパンデミックは数百万もの人々の長期的なく  
らしや健康を含めて、労働者の権利を脅かしてい  
ます。こうした未曾有の挑戦を克服するために、  
私たち労働組合は状況に対応した政策を採用する  
必要があります。また労働組合は、雇用創出と雇  
用保護のために協力しなければなりません。私たち  
は、全労連のみなさんがすべての労働組合、ま  
た日本の社会運動を強化するために、重要な役割  
を果たされることを期待しています。私たちは全  
労連第 30 回定期大会の成功を祈念し、心から連  
帯を表明します。また新たに就任される執行部の  
みなさんの成功を祈念し、温かい祝福を送ります。

あらためて私たちは、この重要な機会に際して  
GEFONT を代表し、全労連と GEFONT の強い連  
帯と友情を表明します。私たちは今後、二国間関  
係がいつそう強くなることを確信します。

私たちの連帯、万歳！

大会の成功を祈念し、連帯します！

ネパール労働組合総連合 GEFONT 書記長、

ジャナク・チャウドリ

### **フランス労働総同盟(CGT)**

フランス CGT とその活動家を代表し、  
COVID-19 パンデミックの経済、社会的、環境と  
人々の健康への影響が深刻化する下で開催される  
第 30 回定期大会の実に多い討論を心から祈念し  
ます。

今、全世界で労働組合は労働者の健康を守るた  
めにたたかっています。雇用や労働条件の維持が  
さらに困難になっているもとの、すべての産業分  
野で、最低限必要な条件を確保することが必要で  
す。特に医療分野、公共サービス、運輸、エネル  
ギー、消防、小売り、物流、食品加工、上下水道、  
清掃、ごみ収集、保育の分野などでそれが求めら  
れます。

フランスでは CGT は労働者とともに、権利が尊  
重され、労働条件が保障されることを求めてたた  
かっています。集団的な行動や自主的な職場放棄  
の権利行使を通じて、自信の権利と安全、健康を  
守るためにたたかっているのです。そして、労働  
者を観戦から守る防護具をすべての働く人に支給  
することも求めています。この危機の状況下にお  
いて、CGT は人々の必要を満たす商品やサービ  
スに係る人以外の経済活動を停止することも求めて  
います。

全労連の運動は重要であり、時代の変革にと  
つて必要なものです。だからこそ、皆さんがより充  
実した討論を行うことを期待し、最後に以下の言  
葉を送ります。

日本の同志のみなさん万歳！

全労連万歳！

困難な中での第 30 回定期大会の成功を！

大会で選出される新しい指導部に祝意を送りま  
す。CGT とさらに友好関係を強めましょう！

二組織間の友好と発展に寄与した、小田川義和  
議長、野村幸裕事務局長に感謝します！

最後に日本流に、「ガンバロー！」

CGT 書記長 フィリップ・マルチネス

### **ベルギー・キリスト教労組連盟(ACV-CSC)**

ベルギーのキリスト教労働組合総連合 (ACV -  
CSC) から、日本の労働者の権利を擁護するた  
めの今後の戦略策定に向けて開催される全労連第  
30 回定期大会にお祝いを申し上げます。

全労連第 30 回定期大会は前回大会とはまったく異なり、大会代議員 300 人が参加するオンライン大会です。私たちは、コロナウイルスのパンデミックという極めて困難なときにもかかわらず、定期大会の開催に挑戦する全労連のみなさんに心から感銘を受けています。

他の国々の労働組合と同様に、全労連もまた、コロナウイルスのパンデミックのさなかで極めて大きな困難に立ち向かい、活動し続けることを余儀なくされました。私たち労働組合は、外出禁止やロックダウンといった障害にもかかわらず、労働者を守るためのたたかいを続けなければなりません。私たちの組合員や労働者はこの数か月、かつてなく労働組合を、また労働組合のとりくみを必要としていました。そうした状況を見ると、みなさんが「大会を準備すること」はとても難しいことだったのではないのでしょうか。

コロナウイルスがもたらした社会、健康、経済的危機の経験をとおして、私たちは「仕事の未来に向けた ILO 創設 100 周年記念宣言」の枠組みのなかで昨年、始まったとりくみの重要性をあらためて教えられました。現在の危機によって、労働者とその家族を守るためには、質の高い公共サービスをともなった実効性ある社会的保護のシステムが不可欠であることが明らかになりました。「労働における基本的原則および権利に関する ILO 宣言」に労働安全衛生関連の条約を盛り込むことがいま、求められていることは何よりも明らかです。私たちは、仕事の世界の新たな情勢と課題のなかで、労働者の権利擁護を発展させるため、ILO のなかでロビー活動にとりくみ、たたかわなければなりません。

全労連第 30 回定期大会の討議と熟考をとおして、みなさんが新たなアイデア、強さ、ダイナミズムを獲得し、日本の労働者を代表するたたかい、また日本の労働者の一助となるたたかいをさらに続けることを期待します。

今後の全労連の強固な基礎の確立に向けて、全労連大会のなかでみなさんが奮闘し、大会が大きく成功することを祈念します。

みなさんのご健勝を祈念します。

キリスト教労働組合総連合 (ACV - CSC)

委員長マーク・リーマン

## イタリア労働総同盟 (CGIL)

イタリア労働総同盟 CGIL を代表し、7 月 29～30 日に東京で開催される全労連第 30 回定期大会にご挨拶申し上げます。

世界中の国々で労働者とその家族は、未曾有の事態のなか、極めて困難な日々を直面しています。私たちはパンデミックの犠牲者と労働者、とりわけ女性たちを憂慮し、連帯を表明しています。女性たちの日々の労働と犠牲によって、生活の持続が可能になっています。

イタリアの労働組合はパンデミックの発生以降、緊急事態に直面した労働者への最大限の支援を確保するため、共同のとりくみを行っています。イタリア 3 大労組 CGIL、CISL、UIL は 3 月 14 日、コロナ拡散阻止のための議定書の実施に向けて、また緊急事態のなかで必要不可欠な公共サービス、流通、食料品生産、政府が定める生産活動を維持するための労働に従事し、多大な犠牲を払った労働者の保障に向けて、政労使三者の合意に至りました。

私たちのとりくみはすべての階層において、労働者の健康と安全の確保を他の何よりも優先させてきました。だからこそ私たちは、感染拡大を封じ込めるため、必要不可欠ではないすべての活動を一時停止するよう繰り返し政府に強く迫りました。

イタリア 3 大労組 CGIL、CISL、UIL は 3 月 25 日、「必要不可欠な生産活動」として認定するリストをめぐってあらためて政府と交渉し、労働者の安全を確保するため「必要不可欠」と認定しがたい生産活動をリストから外すよう要求しました。

交渉は極めて困難でした。というのも工場の閉鎖と生産の一時停止を望まない使用者団体、イタリア工業連盟が大きな障害になったからです。私たちは何度か、ストライキに訴えなければなりません。

いま行われているすべての活動のなかで、労働者は個人用防護具を装着しています。防護具はいまや絶対不可欠です。そしてイタリアは、労働組合の協議と科学の専門家会合の支援を得ながら生産活動の再開と回復に向け、いわゆる第 2 局面に入りました。

私たちは緊急事態の最初の数か月間、極めて厳しい状況に陥った公的医療制度に加盟する集中治療病院を支援するため、イタリアのすべての労働

者に呼びかけてカンパにとりくみ、200 万ユーロ以上のカンパを集約し、国民を保護するための国の機関に寄付しました。

2020 年も半年が過ぎましたが、イタリアの経済的、社会的な枠組みは非常に複雑で不確実です。医療危機の影響は、2019 年の景気後退と相まって、第 1 四半期の GDP 成長率がマイナス 5.3% を記録、循環的な景気悪化を示し、最近の兆候はマイナスのインフレ、雇用労働者数の減少、著しい労働力不足、労働力率の低下などです。国立統計局の予測によると、経済活動は 2020 年に急激に悪化し、回復は 2021 年になっても部分的です。2019 年、財政収支の均衡を図るための施策が講じられましたが、現下の危機対応のための予算措置は、公共財政に多大な影響を及ぼすでしょう。

国立統計局の企業に関する特別調査によると、企業の脆弱性の要因は多岐に渡り、ポジティブな要素があったとしても、極めて深刻な課題は流動性です。

CGIL は広範な団体交渉をとおして、労働者の経済的、社会的条件の保護にとりくんできました。スマートワークの活用は部門、あるいは会社レベルで具体的な合意に達しています。CGIL と政府の協議によってスマートワーク、育児休暇延長、レイオフ禁止（2020 年 12 月まで）、自営労働者、非標準労働者、脆弱なグループといった正規の雇用契約にカバーされない労働者に対する助成金といった措置が講じられました。またこれまでに確立した協議プロセスに即して、労働者と企業を支援するための現段階において最も効果的な措置について検討しています。

私たちは、それぞれの産業分野が被った産業分野独自の危機の影響に対処するため、CISL、UIL と共同で部門別交渉や企業別交渉にとりくんでいます。また私たちは、ヨーロッパがパンデミックに迅速かつ強力に対処するため、EU による画期的な復興計画の速やかな承認を求めるヨーロッパレベルのキャンペーンに欧州労連と共同でとりくんでいます。この復興計画により、最も打撃を受けた国や経済部門の支援が可能になるでしょう。

イタリアの労働者と国民の要求、とりわけ良質な雇用機会の要求に応えるためになすべきことは山積しています。来年の秋はイタリアにとって正念場になるでしょう。ですから私たち労働組合組織は、労働者とすべての国民の収入と生活を守るため、たたかひの準備をしています。私たちは特

に以下を要求しています。

- デジタルネットワークなど、必要とされる有形、無形のインフラ構築のための新たな公共投資と民間投資について、明確に提起すること。

- 抜本的に税制を改革すること。まず脱税とたたかひから手を付けたい。

- 新たな産業政策と環境に配慮した持続可能な開発政策を明確にすること。イタリア、特にイタリア南部の経済成長のため、また安定した良質な雇用のため、新たな発展モデルに向けた部門別に特化された EU の戦略リソースを利用すること。

- 不安定性に対する積極的な政策のなかの緩衝機能を比較検討すること。

- 社会政策を強化すること。まず公的な教育、訓練、健康、社会保障、公共事業などに関する法制度を強化し、同時に年金制度を強化すること。

- 公務民間労働者の全国的な労働協約を刷新し、その結果を減税につなげること。

新型コロナウイルスがもたらした健康危機は、密集とウイルスへの被ばくの点から、移民施設に既存の脆弱性をさらに脆弱にし、集団的に健康を守るための制度の実効を困難にし、移民労働者を危機にさらしています。

私たちは労働組合と市民社会が政府と向き合い、行動をおこすことをとおして、いくつかの成果をやっと達成することができました。そのひとつは、右派や保守党の激しい抵抗にもかかわらず、不法移民を認知する新たな法律を制定したことです。この法律は、限定的で多くの条件が課されているため、完全で明確な規定とは言えません。しかし正しい方向をめざす極めて重要な一歩です。

いま必要とされている措置を講じるため、労働運動といった社会的な勢力がかわり、協議し、参加しない限り、パンデミックは既存の不平等、特にジェンダー不平等を拡大し、新たな不平等を生み、民主主義的なシステムを傷つけるでしょう。私たちは、世界の労働組合運動の歴史に示されているように、社会の最も脆弱な人々に真っ先に配慮しつつ、断固としてたたかひ続けます。私たちの結びつきと国際連帯は私たちの力です。私たちはともにこの状況を打開し、連帯、平和、社会正義、民主主義のため、労働者階級のたたかひを前進させましょう。

全労連の同志のみなさん、大会のご成功を心から祈念します。

## スペイン労働者委員会連合 (CCOO)

全労連第 30 回定期大会の開催に際して、スペイン労働者委員会 CCOO は、全労連のみなさんに連帯のご挨拶をお送りするとともに、30 年にわたる全労連のたたかいを祝福いたします。

私たちは世界中で、かつて経験したことのない状況に直面しています。現在の世界的なパンデミックは、人々の健康と生活を危機にさらすと同時に、予想されたことではありますが、深刻な社会的危機、雇用危機、経済的危機をもたらしました。さらに新型コロナウイルスは、不安定な雇用に従事する人々やインフォーマル部門で働く人々など、最も脆弱な立場に置かれた人々を最も苦しめています。そうした人々には、たとえ感染のリスクがあったとしても、仕事をやめるという選択肢はありません。なぜならそうした人々のいのちと暮らしは、その仕事にかかっているからです。そうした人々が欠勤でもしようものなら、職を失う危険をおかすことになり、代替となる収入を得たくても、他に仕事はありません。また過密状態のなかで生活し働いている移民や難民キャンプで暮らす人々も同様です。そうした人々は低収入で、えてして健康状態は悪く、保健医療の制度を利用する方法も極めて複雑で困難です。

こうした状況のもと、労働組合主義の役割は世界中で極めて重要になっています。私たち労働組合は、労働者の権利をはく奪、縮小するためのとても都合のいい口実として、この新たな危機が利用されることを許さず、労働者の権利を守り続ける責任を負っています。労働者が危機のツケを再び支払うことがあってはなりません。私たちは、社会対話と社会制度への参加を強化することによって、労働者の健康と雇用の確保にむけて必要な措置を講じなければなりません。いっぽうで、パンデミック後の新たな現実から生まれた要求を掲げることも必要です。いまの状況は、私たちが苦しみ、経験したここ数年の状況とは異なっています。暴走する新自由主義と資本主義がまったく役に立たないということは証明済みです。パンデミックに対処し、国民の保健医療と福祉の保障を可能にできるものは、唯一、しっかりした国家と公共サービスです。公正な税制度と所得再分配によってのみ、必要とされている公共サービスの維持に足る公的財政が実現できます。

こうした深刻な状況のなかで、もし政府が濫用

のおそれのある過度な監視、管理体制をしいた場合、民主主義、法の支配、自由は危険にさらされる可能性があります。

より公正で包摂的な世界を確立するために労働組合のたたかいは不可欠であり、その点からも、国際的な労働組合の連帯がいま、かつてなく求められています。私たちは長年にわたって続けてきた全労連と CCOO の関係をいっそう強化しなければなりません。私たち全労連と CCOO は共同のとりくみを続けなければなりません。なぜならディーセントな仕事、公正な賃金、良質な雇用契約、労働法制を実効あるものにするための労働査察、企業の在り方、安心できる年金、労働組合主義の擁護、労働組合の国際関係の強化など、私たちの要求とたたかいは共通しているからです。

私たち CCOO は、全労連第 30 回定期大会が大きく成功し、大会決定によって全労連の組織強化拡大が可能になり、COVID19 とコロナ禍がもたらした結果への対応が絶対的なカギになる今後数年間のたたかいの戦略が確立されることを祈念します。

要求実現にむけて、常にみなさんとともに！  
世界の労働者階級のたたかい万歳！  
連帯！

スペイン労働者委員会 (CCOO) 書記長

ウナイ・ソルド

同国際協力担当書記

クリスチナ・ファシアベン

## 汎キプロス労働連盟 (PEO)

親愛な仲間のみなさん、

汎キプロス労働連盟 (PEO) 執行委員会とキプロスの労働者階級を代表し、全労連第 30 回定期大会に参加されたみなさんに連帯のご挨拶をお送りします。この間、世界は新型コロナパンデミックによる前例のない事態に直面しています。

石油といった資源の支配を狙った帝国主義者による戦争は、パンデミックの影響に世界中が苦しんでいるなかですら、依然として世界の平和を危機にさらし続けています。悪化する戦争と貧困、また何百万もの難民と移民は、人類が直面する極めて恐ろしい現実であり、同時に環境に対する搾取は暴走し、急激な気候変動は深刻になり、人類の将来は不確実になっています。

新自由主義的緊縮政策によって、人々は貧困に

追いやられ、保健医療に対する公的サービスの削減によって、何千人もの人々が亡くなっています。そのいっぽうで軍拡はさらに進み、数十億もの予算が軍事産業につき込まれています。

パンデミックによって地球の未来、公共の福祉、人々と労働者の権利に対する新たなリスクとたたかいが生まれています。パンデミックがもたらした状況を利用しようと狙う使用者は、自らの利益を最大化するため、労働者の権利を攻撃しています。

こうした状況のもと、労働者が破壊的な新自由主義的政策に反対し、社会進歩、公正、平和と安全の基礎を確立する唯一の方法は、連帯と共同行動の構築です。

私たちと全労連は、同じ目標と願いを共有しつつ、私たち 2 組織の関係を長年、大事にしてきました。

日本政府は国民の暮らし、労働条件、平和と民主主義を攻撃しています。私たちは、そうした攻撃に対する全労連のみなさんの日々のたたかいと運動に注目しています。

全労連第 30 回定期大会の決定によって、労働者に対する攻撃に反撃するため、また核兵器のない平和で公正な世界のため、全労連のみなさんがより広範で強力なたたかいを組織し、みなさんの目標を達成されることを確信します。

大会のご成功を祈念いたします。

連帯

書記長

パンビス・キリツシツ

## **ブラジル中央統一労働組合(CUT)**

同志のみなさん

2020 年 7 月 29-30 日に東京で開催される全労連第 30 回定期大会の大成功を祈念します。過去 2 年間の運動を検討し、この先 2 年間の新しい上申と戦略を確立されることと思います。

COVID-19 の結果に直面している世界の現状は、過去数十年にわたって私たちが取り組んできた「新自由主義」の失敗が明確に表れています。

COVID-19 は人類に悲劇をもたらし、特に弱い立場の人々の申告は影響を与えました。労働者階級がこれらの課題に団結して立ち向かうことができるよう、私たちが連帯と国際主義を強化することが必要です。

ブラジル CUT にとって全労連は重要なパート

ナーです。格差とたたかい、全ての人の労働条件と生活条件にむけた戦略とたたかいの交流を続けていきましょう。

今回、パンデミックのために残念ながら大会に参加できませんが、ぜひ大会の結果をお知らせください。

労働者階級万歳。

連帯を込めて

委員長 セルジオ・ノブレ

国際書記 アントニオ・リズボア

## **アルゼンチン中央労働組合(CTA-T)**

全労連の兄弟姉妹のみなさん、

全労連第 30 回定期大会に際して、アルゼンチン中央労働組合 (CTA-T) から、全労連の兄弟姉妹に連帯のご挨拶をお送りします。また私たちは、結成 30 年を迎えた全労連を祝福します。全労連は、日本のすべての労働者の権利とよりよい労働条件を求めるたたかいのなかで極めて重要、かつ不可欠の役割を果たしてきました。こんにち世界は極めて深刻な危機に直面しています。またその危機によって、仕事の世界もまた、非常に厳しい状況に陥ることが予想されます。労働組合は、政府との対話に参加することによって、現在の医療や経済にもたらされた惨事のツケを労働者が負わないことを確実にしなければなりません。

私たちはこの危機的状況を、社会経済全体を動かしている労働者の具体的な貢献を評価させ、すべての人々にとってより公正な世界を構築する機会にしなければならないと確信します。

パンデミックをもたらす深刻な危機のなかでも経済モデルは変わりません。労働者と労働組合はいま、経済よりも人間が優先され、これまでとは違う進路を提案するにあたって、ますます重要な責任を負っています。

極めて強いきずなであるこんにちの国際連帯は、世界中の労働者のたたかいを支援し、ともに抵抗するものでなければなりません。だからこそ私たちは、全労連と私たち CTA-T の協力に関する画期的な協定を誇りに思います。労働者のために労働組合が組織拡大、発展するための第一条件は、国際連帯と国際的な協力です。

私たち CTA-T は、全労連第 30 回定期大会にご挨拶をお送りするとともに、全労連第 30 回定期大会のご成功と同大会をとおして全労連のみなさんの団結がさらに強化されることを祈念します。

日本の労働者に兄弟姉妹の連帯のご挨拶をお送りします！

アルゼンチン中央労働組合 (CTA-T)

書記長ウゴ・ヤスキ

国際関係局長ロベルト・バラデル

国際関係部長アンドレス・ラリスゴイティア

国際関係局員ロドリゴ・ボラス

### **米国際サービス従業員労組(SEIU)**

(メアリー・ケイ・ヘンリー委員長によるビデオメッセージを Web に掲載します)

### **米電気機械無線労働組合(UE)**

全労連の同志のみなさん、

全米の公務、民間労働者を代表し、米電気・機械・無線労働組合 (UE) は、全労連第 30 回定期大会に心からお祝いを申し上げます。全労連大会代議員のみなさんが直接、一堂に会して議論することはかなわないかもしれませんが、バーチャルな交流と民主的議論をとおして、全労連のとりくみが活性化されることを祈念いたします。

COVID-19 パンデミックは、日米双方において、労働組合の従来のとおりくみを極めて困難にしました。コロナウイルスによって、これまで看過されてきた企業の強欲がつくり出した極端な不平等が露呈されました。私たちは、労働者がさらされるコロナウイルスによる経済的影響を軽減するため、最低賃金を引き上げ、労働条件を改善するよう要求する全労連のみなさんを支持します。私たちは、コロナウイルスを適切に封じ込めるまで、エッセンシャルワーカーの仕事の安全を支援し、その他の労働者が家にとどまるための財政的援助を提供するようすべての政府に要求しなければなりません。また私たちは、日本の安倍首相とアメリカのトランプ大統領による政権の企てに警戒しなければなりません。彼らは、反労働者的な法案を可決する口実として、このパンデミックを利用しようと企んでいます。私たちは、企業や富裕層がこの疾病から利益を得ることを許してはなりません。

全労連大会後まもなく、広島と長崎への米国による原爆投下から 75 周年を迎えます。私たち UE は、広島長崎で犠牲になった多くの人々に心から哀悼を表明します。私たち UE は、日本の憲法 9 条を守るためにたたかう全労連のみなさんとの連帯を誇りに思います。昨年の私たち UE の大会は決議「日本の平和憲法、憲法第 9 条の改悪阻止、

日本全国のすべての米軍基地撤退、米国の企てである攻撃手段としての日本の自衛隊の利用を阻止しよう」を採択しました。戦争で繁栄できるのは富裕層だけです。私たちはともに、政府が軍備ではなく医療、教育、年金の予算を拡充するよう働きかけなければなりません。

海外移動が安全になり再開されたら、すぐにもみなさんと直接お会いし、あらためて私たちの連帯を喜び合うことを楽しみにしています。竹下武全労連常任幹事と名取学国際委員会事務局員が 2019 年 8 月、私たち UE の第 76 回大会に出席してくださったことを嬉しく思っています。また自治労連のみなさんが 2019 年 5 月、公共部門における新自由主義とのたたかいに関する会議の際、UE ローカル 150 のブライス・カーター委員長と会談したことも嬉しく思っています。私たちは、全労連のみなさんが今大会で新たに選出する新執行部とできる限り早くお会いすることを楽しみにしています。

来年、世界中の労働者は多くの試練に直面することでしょう。私たちは、組織された使用者の勢力とのたたかいのなかで、全労連と連帯できることを嬉しく思います。

連帯を表明し、みなさんの御健康を祈念します。

米電気・機械・無線労働組合 (UE) 議長、  
カール・ローゼン

### **米レイバーノーツ**

親愛なる小田川議長、野村事務局長

私たちレイバーノーツは、全労連の第 30 回定期大会にあたり同志と仲間の方々にごあいさつを送ることを誇りに思います。私たちは、労働者階級の日々の日常においてまたより大きな意味での社会運動に必要な、進歩的な経済、社会と政治を作り出すパートナーであり、そのためのみなさんのたゆみない努力に敬意を評します。

大会は急速に深刻化する困難のもとで行われており、世界規模のパンデミックが新自由主義的な資本主義の根本的な矛盾を表面化させています。この矛盾によって作り出される不平等は、米国のような一部の国では非常に深刻な問題です。米国では人種差別主義、階級の分断、社会的資源の再配分機能が不完全であることから、何百万の人々が不安定雇用に追い込まれ、パンデミックで命を落とす可能性も拡大しています。しかし一方で、わたし達は労働運動が発揮できる力と連帯につい

て熟知しながら、この危機に立ち向かっています。

レイバーノーツは発足以来40年余り、米国労働運動の職場の活動家に方向性を指し示し、同時に関あ多くの国の活動家や労働組合と交流してきました。新自由主義の攻撃が全世界で展開されている中で、明確に確信を持って労働者の側に立つことがかつてなく重要になっています。資本家階級と彼らに追従した政治家たちによる絶え間ない攻撃に直面し、私たちは賃金切り下げ、賃金泥棒、労働法制への攻撃と後退、民営化とアウトソーシング、雇用の不安定化、職場のいじめ、人身売買や資本の流出に関する脅しなどとたたかってきました。そしてもちろん、搾取構造全体が国家の安全保障や軍備強化を隠れ蓑にしています。

しかしこの困難な時期において、各国で深い人権の価値と労働者の人権を守るたたかいが継続されています。レイバーノーツと全労連との間で、それらの原則を踏まえた関係を継続させ、今後も多くの場面で協力関係を継続させ、実り多い交流に期待しています。

全労連第30回定期大会への敬意と期待を表明し、レイバーノーツからの大会への挨拶とします。

エレン・デービッド・フリードマン  
レイバーノーツ運営委員会議長

### **建築木材建築資材労働組合インタナショナル (UITBB)**

全労連第30回定期大会代議員のみなさん、

建築インター (UITBB) と世界の建築セクターの労働者、数百万人を代表して、全労連のみなさんと日本のすべての労働者への全面的な支持と心からの連帯を表明し、戦闘的なあいさつをお送りするとともに、全労連大会の成功を祈念します。

UITBB と全労連の二組織の関係はとても強固です。私たちが常に連絡を取り合い、行動を調整し、世界中の労働者を支援してきたことによって、私たちの関係はいっそう強くなっています。私たちは国土交通労組の古澤氏が UITBB 太平洋地域の副議長を務めてくださっていること、それだけでなく建交労の廣瀬氏が UITBB の執行委員を務めてくださっていることを非常に誇りに思います。UITBB に加盟する日本の国土交通労組、建交労、都市労は、労働者の利益を促進しつつ、私たち UITBB のなかで極めて積極的に活動していただきます。同様に全労連は、労働者のいのち、労働

法制、賃金、労働条件、民主主義に対する安倍首相と与党による一連の攻撃に反対するたたかいのなかで、重要な役割を果たすとともに、世界の平和と核軍縮を追求する運動のなかで、極めて意義のある役割を果たしています。

新自由主義的な政策が COVID-19 の影響に対処できないことは、とりわけこのパンデミックのなかですます明らかになっています。まさにこうした状況は、階級的労働組合運動をさらに強化しなければならない理由であり、階級的労働組合運動を強化することによって、あらゆる困難な状況から脱する方法を労働者階級に示すことができます。みなさん、私たちは準備しなければなりません。なぜなら支配階級は労働者をさらに攻撃し、この危機を利用して、彼らの利益を守り、労働者の賃金をカットしようと狙っているからです。

労働者の抱える困難が世界中で共通しているように、私たちは、多くの同じ目標と願いを共有しています。私たち UITBB は、全労連大会の決定が人々に対する敵意ある攻撃をはね返し、労働者の権利を擁護し、すべての人々のためのディーセントワーク、平和、真の民主主義をともなったより人間らしく暮らせる社会の確立にむけた新たな一助となることを確信します。

全労連の仲間の皆さん、私たちはあらためて、全労連大会の成功、また労働者とその家族のくらしと労働条件の改善に向けた日々のたたかいすべての成功を祈念しつつ、日本の労働者階級に向けて、決して絶えることのない連帯を表明します。

私たちは常に全労連のみなさんとともにたたかいます！

国際連帯万歳！

全労連万歳！

UITBB 執行委員会を代表して

ミカリス・パパニコラウ

### **グローバルゼーションと労働組合権に関する南からのイニシアチブ (SIGTUR)**

親愛な仲間のみなさん、

オーストラリア、ブラジル、韓国、南アフリカ、マレーシア、インド、フィリピン、アルゼンチン、パラグアイの約2億人の労働者を代表する「グローバル化と労働組合の権利に関する南からのイニシアチブ」(SIGTUR) は、東京で開催される全労連第30回定期大会に心から連帯を表明し、ご挨拶申し上げます。いま世界中の労働組合運動は大き

なチャレンジに直面しています。日本では、COVID19の感染第2波が懸念されるなか、西日本の人々が豪雨と洪水に苦しめられています。いっぽう日本政府は、そうした状況にもかかわらず、人々を保護するために求められている措置を講じていません。このように極めて困難な状況のなかで、全労連がオンラインで定期大会を開催し、より効果的なたたかいに向けた運動と組織化を追求していることを私たちは高く評価します。

私たち SIGTUR は、全労連が 1989 年の結成以降、約 31 年にわたってディーセントな仕事、労働者に対する攻撃とのたたかい、とりわけ数十年におよぶ日本の新自由主義とのたたかいを追求し続けた軌跡をよく理解しています。労働条件や生活条件、権利、平和、民主主義の擁護を求めるたたかいのなかで、全労連がこれまで果たしてきた役割は極めて重要です。私たち SIGTUR と全労連は、長年にわたって友情と連帯を深め、同じ目標と願いを共有してきました。私たちは、組織化と連帯をとおした日本の労働者のたたかいによって、みなさんの直面する脅威が解消されることを確信しています。またこうした危機的状況のなか、国際連帯によってみなさんのたたかいがさらに勢いを増すことを私たちは確信しています。

私たち SIGTUR は、全労連大会が決定する次年度の戦略をしっかりとフォローアップします。また全労連は昨年、結成 30 年を迎えました。全労連のみなさんに心からお祝い申し上げます。

全労連万歳！

労働者の国際連帯万歳！

連帯！

SIGTUR コーディネータ

アドルフ・アギーレ (アルゼンチン CTA-A)

グレン・トンプソン (オーストラリア

AMWU/ACTU)

### **国際労働組合権利センター(ICTUR)**

親愛な仲間のみなさん、

全労連第 30 回定期大会にあたって、国際労働組合権利センター (ICTUR) は、労働者の権利を擁護、促進するために、また核兵器のない公正で平和な世界をめざす運動のなかで、30 年にわたり卓越した役割を日本で果たしてきた全労連にお祝いを申し上げます。

みなさんの大会は、私たちの世界、経済、政治の進路が根本から問われているさなかに開催され

ます。ディーセントな労働と生活は社会的、制度的基盤の上に築かれますが、競争、効率、成長といったスローガンと強く結びついた数十年におよぶ新自由主義は、それらの基盤を大きく破壊してしまいました。2008 年の世界金融危機後に押し寄せた「緊縮」の波は、公共サービスをますます縮小させ、いっぽうで労働法制の「改革」は、労働組合の組織化の自由を奪い、労働組合の交渉力を徐々に弱体化し、ストライキの権利を制限し、労働組合活動を犯罪と見なすまでになりました。

すでに世界中の多くの政府が無責任に対応してきた Covid-19 のパンデミックによる世界的な健康危機は、世界中の何百万もの人々のいのちと健康に対する深刻なリスクだけでなく、ある傾向が拡大するリスクをも示しています。その傾向とは、この危機のなかで貧困、失業、不安定雇用の増加、社会的排除、公共サービスからの排除が劇的に悪化する傾向です。全労連は、この極めて大きな問題にとりくむにあたって、この状況を前進と組織化の機会ととらえるべきです。この状況はまさに、労働組合が握って離してはならない機会です。労働組合が最も被害を受けた人々に対する支援、そして最もリスクにさらされた人々に対する援助を提供し、公正でディーセントな世界的な展望を明確に打ち出し、その展望を働く人々と共有するべきときです。

国際主義は、私たちのグローバルな労働運動の大原則になりえます。またそうでなければなりません。1919 年に設立された ILO と同様に、健康に関する国際機関としての世界保健機関 (WHO)、労働権に関する国際機関としての国際労働機関 (ILO)、人権に関する国際機関としての国際連合 (UN) に私たちが参加することは、すべての人々のためのディーセントワークを求めるたたかいにとって、パンデミックとたたかうグローバルな協力の確立にとって、そして公正でディーセントな世界の構築にとって、常に不可欠です。

連帯

国際労働組合権利センター (ICTUR) 事務局長  
ダニエル・ブラックバーン

これ以降に到着したメッセージは Web などです  
時紹介します (全労連国際局)。

(以上)